

# 所報

佐賀県  
教育センター

No.19



## ミネルバ通信

「ミネルバ」とは、ローマ神話における技術・職人の女神にちなんでいます。この女神は、ギリシア神界最大の女神アテナ（学問・技芸・知恵を司る神）と同一視されている神です。私たち教職員が、教育の専門家としてより高いものを求めながら、研修を積んでいくことを期して名付けました。

## C O N T E N T S

平成13年度佐賀県教育センター事業の紹介.....	2 ~ 3
・[ 研修講座 ]	
・[ 研究調査事業 ]	
インフォメーション.....	4
・第22回研究発表会の案内	
・教育センターのホームページが変わりました	
・刊行物の紹介	

### 巻頭言

## こころ打つ一通の手紙

佐賀県教育センター 所長  
植松 治彦



最近、われわれの身の回りのいたるところで、信じられないような事件や事故が報道されることが特に多くなったような気がします。

人が謙虚さや使命感を忘れてしまったらどんなに恐ろしいことになるか考えただけでぞっとします。

私がお世話になったとき、診療時間外や休診日にも誠心誠意治療をしていただいたお医者さんにお礼のハガキを出しました。それに対して奥様からお返事をいただきました。

文面からにじみ出てくる人間としての謙虚さや使命感を、教育に携わっている人もそうでない人も、生き方の第一義に据えることができれば素晴らしいことだと思い紹介させていただきます。

「.....」

お礼を一言申し上げたくて大変失礼かとは存じますが、多忙な主人に代わりまして私（家内）が筆を執りました。私共がこちらに来て早四年が過ぎようとしています。五年前、都会にいた私共が全く見ず知らずの地において、開業することは一大決心でございました。こんな私共がここまでこうしてやってこられましたのも、患者皆様の励ましがあったからこそです。皆様の素朴で温かい心に触れさせていただき、医療のあり方・人間のあり方を原点から、見つめなおすことができました。長い都会の生活で忘れていた心も取り戻すこともできました。支えていただいておりますのは私共の方だと思っております。そんな皆様へのご恩返しに何なりとお力になればという一心のもとに今日までまいりました。

今回、こうして励ましのお便りをいただき、私共の使命としてやっておりますことをこんなに気遣ってくださっている方がいらっしゃる心強さと感謝の念でいっぱいでございます。

“病气やけがは時と場所を選ばず、その為にも患者様のことを第一に考え、いつでも安心してきていただける医院にしたい” 主人がいつも口にする言葉であり目指しているところでもあります。

これからも地域の皆様に少しでも安心していただくことができますように、初心を忘れることなく、決しておごることなく、地道に努力していく所存でございます。まだまだ発展途上の私共ですが、どうか今後ともご指導とご鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。

スタッフも皆、喜んでおりました。本当にありがとうございました。

.....」

# 平成13年度 佐賀県教育

## [ 研 修 講 座 ]

### - 個性を生かし，豊かな心をはぐくむ研修講座の推進 -

本教育センターでは、「学習指導要領」や「佐賀県教育の基本方針」の理念を踏まえ、21世紀の教育に対応した魅力ある研修講座を実施します。

#### 基本研修 (18本)

職務遂行に必要な専門的知識の向上を図るため、指定された該当者が受講する研修です。

#### 専門研修 (69本)

教科・領域を中心に、研修の目標を明確にしたテーマ別の希望に基づく研修です。

#### 断続研修 (5本)

専門的な知識技能を高め、各学校における指導的役割を果たす教職員の育成を図るための研修です。3月末に受講者は決定済みです。

### 1 基本研修

協議や演習の時間を増やし、企業の経営者等を講師として招くなど、内容を更に充実させています。

### 2 専門研修

#### (1) 「総合的な学習の時間」に対応する講座

平成15年度から高等学校で実施される「総合的な学習の時間」に対応するため、講座を新設しました。また、「福祉・健康」の講座も新設しました。

- (小) 総合的な学習(理論と実践)
- (中) 総合的な学習(特色ある学習活動の展開)
- (高) 総合的な学習(理論と実践)
- (共通) 総合的な学習(福祉・健康)

#### (2) 授業を設定した講座

指導の工夫や評価の在り方等について、講師の先生方の助言と講義を交え、研修を深めます。

- (小) 国語, 算数, 理科, 生活, 道徳
- (中) 理科, 美術, 英語, 道徳
- (高) 英語
- (中・高) 音楽.....授業は中学校

#### (3) 情報化に対応した講座

教科等においても情報化に対応し、コンピュータを使った講座を増やしました。また、受講希望の多かった講座を、同一内容で複数回実施するようにしました。

#### コンピュータを活用する教科等の主な講座

- (小) 算数, 家庭
- (中) 国語, 数学, 美術, 技術・家庭, 英語
- (高) 数学, 家庭科 など

#### 2回実施する講座

情報通信ネットワークの活用

#### (4) 心の教育の充実を目指す講座

児童生徒の理解、また、指導や支援の在り方について研修を深めます。

#### 小学校, 中・高等学校生徒指導

教育相談基礎, 専門

教育相談体験学習(宿泊をして研修を深めます)

はじめてのカウンセリング体験 など

#### (5) 特殊教育の充実を目指す講座

特殊教育における指導や支援の在り方及び適切な対応の仕方について研修を深めます。

特殊教育Ⅰ(軽度障害児の教育)

特殊教育Ⅱ(重度障害児の教育)

特殊教育Ⅲ(障害児教育相談・学習障害・交流教育)

#### (6) 移動講座

受講者の利便性を考慮し、会場をセンターの外に移して研修を深めます。

小学校 国語科Ⅰ.....鹿島市

小学校 図画工作.....唐津市

小学校 学校教育相談事例研究.....武雄市

校内研究.....神埼町

### 3 断続研修

1期.....情報処理断続基礎, パソコン断続Ⅰ

2期.....教育相談断続, 情報処理断続応用,  
パソコン断続Ⅱ

の各講座があります。

研修講座の内容については、ホームページを御覧ください。県内学校等の講師も、決定次第掲載します。

# センター事業の紹介

## [ 研究調査事業 ]

### - [ 生きる力 ] をはぐくむ学校教育の創造 -

本教育センターは、本県及び各学校が当面している教育上の課題並びに今日的な教育問題や将来を見通しての課題等について調査・研究を行っています。これらの成果については、研究発表会や研究紀要等で紹介し、県内の教育の充実・改善に寄与しています。

本年度は、『[ 生きる力 ] をはぐくむ学校教育の創造』の視点に立った教育研究に取り組んでおり、今回は、その「研究調査事業」の概要について紹介します。

#### 1 研究組織

研究組織を次の3つに区分し、取り組んでいます。

##### ア 特別研究

社会的な要請が強く、学校現場で必要とされる緊急な課題へ対応する研究

##### イ 共同研究

教科・領域等において、児童生徒の実態を調査分析し、それを踏まえ、学習指導方法の改善や手立て等を明らかにする研究

##### ウ 個別研究

所員が、自己の研修教科や領域に応じて、個人的に主題を定め、取り組む研究

特別研究や共同研究については、各主題ごとに研究委員会を設置し、所員だけでなく現場の先生方に研究委員として協力を依頼しています。

#### 2 情報化に対応する教育研究部会の紹介

文部科学省は、「平成13年度までにすべての学校をインターネットへ接続する」方針を打ち出しており、今後ますますインターネットの積極的な教育利用が図られるものと思います。

そこで、各学校が安全に、また、効果的にインターネットを利用するために、適切なガイド（案内）が必要であると考え、下記の内容で研究に取り組むことにしました。

「平成13年度研究調査事業組織」			
	研究部会名	研究委員会	研究期間
特別研究	学級経営	小学校学級経営	H13
		中学校学級経営	
	情報化に対応する教育	小学校情報教育	H13
中学校情報教育			
高等学校情報教育			
共同研究	総合的な学習	小学校総合	H13~H14
		中学校総合	
		高等学校総合	
共同研究	道徳教育	小学校道徳	H12~H13
		中学校道徳	
	基礎調査 I	中学校英語	H13~H14
高等学校英語			
共同研究	基礎調査 II	小学校理科	H13~H14
		中学校理科	
	指導と評価	小学校国語	H12~H13
小学校算数			
中学校国語			
共同研究	中学校数学	H13~H14	
	教育相談		教育相談
共同研究	特殊教育	特殊教育	H13~H14
	個別研究		H13

#### 【情報化に対応する教育研究部会】

##### 研究主題

小・中・高等学校における「インターネットの授業活用」に関する研究

##### 研究の目的

マルチメディア教材データ及びテレビ会議システム等の教育的活用の在り方や進め方を明らかにする。



# INFORMATION

## 第22回 研究発表会の案内



教育センターの研究調査及び長期研修生の研究成果の発表会を下記の要領で行います。ふるって御参加ください。

- (1) 期 日 平成13年 5月15日(火)
- (2) 場 所 佐賀県教育センター 大研修室 他
- (3) 日程及び内容

時間	9:00~	9:30~		9:50~		11:10~	12:10~	13:00~		15:20~
内容	受付	開会式	休息	全体発表	休息	A分科会	昼食	講演	休息	B分科会

### 全体発表

学級経営研究部会

「豊かな人間関係をはぐくむ『学級経営』の在り方に関する調査研究」

### A分科会

小学校〔社会、生活、学級経営〕、小・中学校〔理科、情報システム利用〕  
中学校〔総合的な学習〕、高等学校〔工業、化学〕、共通〔教育相談〕  
長期研修生論文〔社会(中)、特殊教育(県立)〕

### 講演

演題「新しいカリキュラムと教育改革 - 学校の再生を目指して - 」

講師 中央教育審議会委員 京都ノートルダム女子大学長 梶田 叡一 先生

### B分科会

小学校〔国語、理科、総合的な学習、特殊教育〕、中学校〔美術、学級経営〕  
高等学校〔農業、総合的な学習〕、共通〔ネットワーク利用、CAI〕  
長期研修生論文〔算数(小)〕

## 教育センターのホームページが変わりました



### 教育センターのホームページ(教師用ページ)

- ・ 教育センターのトップページをリニューアルしました。
- ・ 佐賀県内の学校や教育機関についての最新情報を“新着情報”としてトップページに掲載します。  
(内容は情報システム係へのメールで受け付ける予定です)
- ・ センター内ページの検索ができるようになりました。

### 児童生徒用サイト

- ・ 児童生徒が利用できる情報交換の場として「情報コーナー」を設置しました。
- ・ パソコンに関する児童生徒からの質問を受けるコーナーとして「パソコン質問箱」を設置しました。
- ・ 学習に利用できるページの検索ができるようになりました。

平成13年4月より

## 刊行物の紹介

平成13年3月30日発行



- (1) 研究紀要第25集(課題選択学習部会、特殊教育部会、情報化に対応する教育部会)
- (2) " 別冊「豊かな人間関係をはぐくむ『学級経営』の在り方に関する調査研究」
- (3) " 別冊「生きる力をはぐくむ『総合的な学習の時間』の在り方についての研究Ⅱ」
- (4) " 個別研究(各所員が、教科・領域等に応じて主題を決めて行った研究)
- (5) 長期研修生報告書「生きる力をはぐくむ教育活動に関する研究」
- (6) 教育に関する歴史的資料調査報告書「学校別編、分類別編」

### 『教育に関する歴史的資料調査報告書』の刊行について

平成12年末には、お忙しい中「教育に関する歴史的資料調査」に御協力いただき、ありがとうございました。この度、佐賀県教育センターは、昭和54年の開所以来行ってきました歴史的資料の調査結果を、報告書として取りまとめました。この調査は、扁額や絵画、記念碑や銅像、教科書等、これまで各学校が大切に保管し、今日に伝えてきたものを対象にしています。

この報告書を、多くの教育関係者の方が、活用していただくことを期待しています。

編集・発行 佐賀県教育センター 〒840 0214 佐賀県佐賀郡大和町大字川上字西山

TEL0952 62 5211 FAX0952 62 6404

ホームページ <http://www.saga.ed.go.jp/>